



佐藤時啓《From the Series "Photo-Respiration" 光-呼吸 #155 Mayachi》1992年 ©Tokihiko Sato 写真文化首都「写真の町」東川町蔵

写真のフロンティア

写真文化首都「写真の町」東川町コレクション展

ヒューマニズムの視座から

安楽 寺えみ
石内 都
石塚 元太良
糸崎 公朗
伊奈 英次
今岡 昌子
植田 正治
掛川 源一郎
菅 洋志
北島 敬三
北野 謙
今 道子
齋藤 亮一
佐藤 時啓
篠山 紀信
杉浦 邦恵
奈良原 一高
萩原 義弘
橋口 譲二

畠山 直哉
初沢 亜利
深瀬 昌久
細江 英公
松江 泰治
村井 修
森村 泰昌
やなぎみわ
吉村 和敏
渡部 雄吉
オリバーバルビエリ
クラウディオエティガー
アンドリュース・グランツ
アンソニー・ヘルナンデス
金 秀男
クラウスミッテルルフ
ヤン・ザウテク
グンドゥラ・シュルツェ
ヨエル・スターンフェルト

2016 4.15(金) - 7.10(日)

休館日：毎週月曜日（5月9日は開館）
開館時間：午前9時30分～午後5時

主催：北海道立釧路芸術館、北海道新聞釧路支社
後援：釧路市、釧路市教育委員会、NHK釧路放送局、FMくしろ
協賛：道立釧路芸術館ポポ&ももの会、釧路芸術館ボランティアの会SOA
協力：写真文化首都「写真の町」東川町

芸術館 北海道立釧路芸術館

写真のフロンティア

写真文化首都「写真の町」
東川町コレクション展

ヒューマンイズムの視座から

観覧料

一般 600(500)円
 高大生 300(200)円
 小中生 100(50)円

()内は、10名以上の団体、
 親子、リピーター料金

- 親子料金=高校生以下の子とその親
- リピーター料金=当館展覧会チケット半券を提示の方
- 障がい者手帳等を提示の方は無料

釧路、根室管内在住の小・中・高・大生は無料
 (釧路芸術館ボランティアの会SOA平成28年度招待事業)

The Frontiers of Photography: Collection of Photo Town Higashikawa, Photography Culture Capital

会期中のイベント

●ギャラリー・レクチャー

「写真の町東川賞」の歩みと受賞作家たち
 講師：吉里濱子氏(東川町文化ギャラリー学芸員)
 6月4日(土) 午後2時~3時
 当館展示室 ※要観覧券

●ギャラリー・トーク

「写真のフロンティア」
 5月14日(土)、21日(土)、6月11日(土)、18日(土)、
 7月2日(土)、9日(土)
 各日午後2時~2時30分
 講師：当館学芸員
 当館展示室 ※要観覧券

●アートシネマ館

4月30日(土)「グリーン・ミラー物語」
 監督：アンソニー・マン/1954年/115分
 5月28日(土)「海外特派員」
 監督：アルフレッド・ヒッチコック/1940年/120分
 6月25日(土)「黄色いリボン」
 監督：ジョン・フォード/1949年/103分
 各日午前10時~午後2時(2回上映)
 当館アートホール ※入場無料
 ※ほかにもいろいろイベントがあります。
 芸術館ホームページをご覧ください。

同時開催

上野秀実展—結晶する境界

4月26日(火)~5月15日(日) 午前9時30分~午後5時
 当館フリーアートルーム ※入場無料

次回展のご案内

漫画界のレジェンド 松本零士展
 宇宙戦艦ヤマト・銀河鉄道999
 2016年7月17日(日)~9月4日(日)

こちらどうぞ

〈釧路市立美術館の展覧会〉
 グラ・コレ ヘキタと探検!くしろアートの海
 4月29日(金・祝)~6月19日(日)
 魔法の美術館
 7月2日(土)~9月4日(日)
 お問い合わせ: 釧路市立美術館(まなぼと常舞3F)
 TEL 0154-42-6116(直通)



交通のご案内

- JR釧路駅から、徒歩約15分(南へ約1.2km)
 - くしろバス「十字街」「十字街7丁目」停留所下車、徒歩約5分
 - 釧路空港から市内行きバスで約50分、
 - 「フィッシャー・マンズワープMOO」停留所下車、徒歩約2分
- ※来館者専用駐車場が、8台分あります。
 本展をご観覧の方は、錦町立体駐車場の利用料金が、
 1時間無料になります。(駐車券を、当館受付にご提示ください。)



安楽寺えみ「HMMT」より 2004年
 © Emi Anrakuji



北野謙「our face」プロジェクトより
 (北海道東川町幼児センター「ももんがの家」の
 子どもたち63人を重ねた肖像 2004)
 2004年 © Ken Kitano

北海道の屋根、大雪山を仰ぐ東川町は、1985年6月に「写真の町」を宣言。国際的なコミュニケーションと写真文化への貢献、地域の活性化を目指して、毎年夏季に「東川町国際写真フェスティバル」を開催してきました。そして2014年には、その30年にわたる実績をふまえて「写真文化首都宣言」を行いました。

「東川町国際写真フェスティバル」の中核となる「写真の町東川賞」は当初から制定され、昨年まで31回にわたって国内外のすぐれた写真作家たちを表彰してきました。東川町は受賞者たちの作品の展示と積極的な収集を続け、こうした長年の活動の成果として、今日では2,566点のコレクションを形成し、大きな注目を集めています。

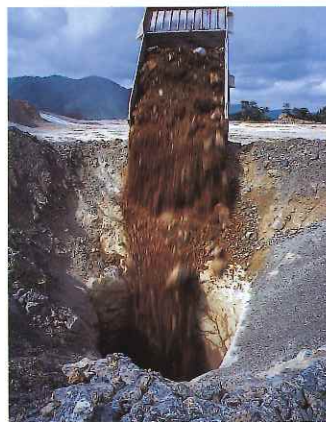
本展では、「写真の町東川賞」受賞作家たちのさまざまな個性を反映した多様なコレクションの中から、生命を謳歌する人間たちの姿やその内面性をとらえた作品、さらにはヒューマンズミ的な視点から都市や自然の姿を映し出した作品など約170点を紹介します。写真のフロンティアを一望できる東川町コレクションの秀作により、私たちの生き方や人間存在について改めて思いを巡らす絶好の機会となるでしょう。



やなぎ みわ「The White Casket」より
 《白い八箱》1993年
 © Miwa Yanagi



掛川海一郎「シマフクロウのイヨマンテ」より
 《コタンの長老として日川善次郎エカシ(故人)は
 祭壇にはなくてはならぬ存在でエカシの
 アイヌ語の折詞は低くおもしろかった。》1983年
 © KAKEGAWA Gen-ichiro



吉村和敏「CEMENT」より《石灰石投入》2010年
 © Kazutoshi Yoshimura



奈良原一高「ヴェネツィアの光」より《#38》1986年 © Ikko Narahara
 すべて、写真文化首都「写真の町」東川町展

芸術館 北海道立釧路芸術館

〒085-0017 釧路市幸町4丁目1-5
 TEL 0154-23-2381 FAX 0154-23-2386
<http://www.kushiro-artmu.jp>

【指定管理者】NTT北海道グループ共同事業体 【施設設置者】北海道教育委員会(北海道教育庁 生涯学習推進局 文化財・博物館課 代表TEL.011-231-4111)